



にい み はんしゅ せき け しりょう てん じ ごてんまち
 新見藩主の関家にまつわる資料・品々を展示している御殿町のシンボル。

ごてんまち 御殿町センターは「御殿町づくり」事業のシンボル施設として地域の方々のご協力のもと、平成6年12月に完成・開館しました。

とくちやうてき しやう か くら 特徴的な外観は商家の蔵をイメージし、特色のある館にしました。

内部には、江戸時代のころ近くに館を構え新見を治めていた初代藩主の関長治から続く関家にまつわる資料を中心に展示・公開している歴史資料展示室や各種研修室、食事処を設け地域の方々に利用いただいています。

近くに川と広場もあるので、子供たちが遊びにも来ています。

◆ 施設のおすすめ

新見藩主の関長治から続く関家に関係のある家系図や弓矢、当主の鎧兜など勇ましく格好のいいものから、関家で使われていた漆塗りの食器や屋敷や街道を記した地図など政に関係のあるもの、3代目藩主である関政富が興した藩校「思誠館」にまつわる資料などを展示・公開しています。

加えて昭和の土下座祭り(御神幸武器行列)を再現したジオラマも展示しており、参加者全員がそれぞれ異なった顔で作られています。

また3月には「にいみ雛まつり」に参加し、お雛様も展示しています。

今後更に展示物の充実をさせていきたいと考えています。

◆ 子どもたちへのメッセージ

関長治は津山藩から移り、新見藩を興しました。そのため当時は新見藩と津山藩は親交が深かったと伝えられています。

そのような地元の子も知らないようなお話や、新見藩を治めていた歴代のお殿様について「こんな人がいたんだ」と知るきっかけになってほしいと思っています。



がいかん 外観の様子



もんどころ 紋所



どう あ 胴 当て



だい り び な 関家の内裏雛



よろい かく と 当主の鎧兜



せき な が かつ ぼ どう てん じゅ い ん 関長克母堂天授院使用の調度品を題材にした油絵